

ときめき人

Tokimeki bito



古民家で自給自足 暮らしの中に ほっこりとした 温かさを

東和町・錦織6区

伊藤 由紀恵

いとう・ゆきえ
1969年生まれ 血液型/B型

Profile

2016年に東和町錦織で「古民家カフェ甘欧」を開店し、自家製ケーキや焙煎したコーヒーなどを提供。ピザやソーセージづくり、家畜とのふれあい体験や民泊も受け入れている。



お膳に載って運ばれてくる手づくりのケーキや紅茶のセットメニュー

東和町錦織、北上川を北上していくと豊かな自然が広がる。桜並木のトンネル、小川のせせらぎが聞こえ、ヤギやアヒルが散歩をしているこのゆったりとした空間にたえず「古民家カフェ甘欧（アモー）」。

「以前から自給自足の田舎暮らしに憧れていて、偶然この場所を見つけたんです」と由紀恵さん。石巻市に住んでいた伊藤さん夫婦は、現在住んでいる築110年の古民家を見つけ登米市に移住。自分たちの手で1年かけてリフォームし、2016年にカフェを開店した。カフェの名前「アモー」はフランス語で、マリー・アントワネット（1755 - 1793年）が農作業や農村生活を楽しんだ「村里（hameau）」から名付けた。

2人はガスなどは使わずまきをたき、野菜などは無農薬栽培している。「ここは自然豊かな場所。近所から手に入る新鮮な果物や、自分で育てた野菜、小麦を使い、素材を生かしたお菓子や料理を作ることができる」と話す由紀恵さん。名前の由来でもある村里ののどかな雰囲気の中、訪れた人へのんびりしていただきたいとカフェを始めた。

いろいろな知恵を生かしながら暮らす生活。「畑仕事や家畜の世話など、やりたいことが多くありすぎて、理想のスローライフはまだ道半ば」と夢と希望が膨らむ。

カフェでは、四季折々の旬の食材を使用。昔ながらの囲炉裏を囲んだ空間には、忙しさを忘れがちな「ほっこりとした温かさ」が待っている。

編集後記

▼全国広報コンクールで佳作に選ばれました。これは、毎月取材に協力いただいた皆さん、印刷屋の皆さんなど、多くの皆さんの支えがあったからこそ。市民の皆さんおめでとうございます。「T o M e」は皆さんと「共に」作っています。皆さんの取り組みがあったから選ばれたんですよ。（及川）

▼6月15日から始まる「とめまちゼミ」。取材をしながら、実際にカラー診断してもらいました。いつもと違った形でお店に行き、そこでプロのコツなどを聞けるのはお得なこと。いつもは車で素通りしてしまうけど、歩いてみると新たな発見がそこにあります。（千葉）

▼先日、雨上がりの夕方に雲の切れ目から日が差し、田んぼに張られた水に映し出された光がとても幻想的でした。周りの木々もピンクから緑色に。最近では、パソコンを見てばかりの毎日に視力は悪くなる一方。もっと緑を見に外に出かけなくては。（伊藤）



モバイルとめ
(携帯電話版ホームページ)
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>